

横暖ルーフα

工法

重ね葺き

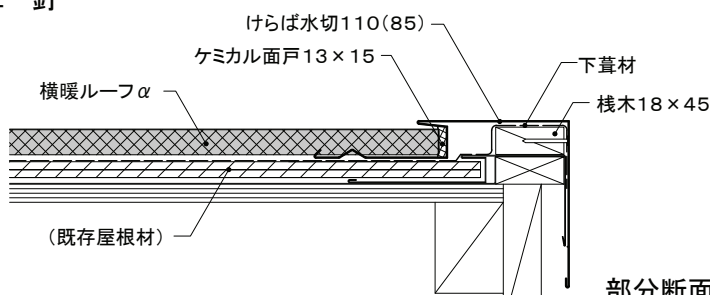
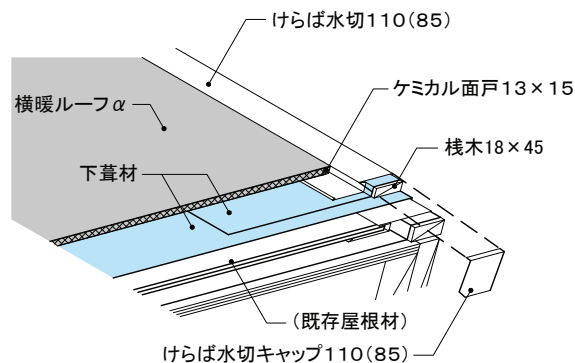
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

5) けらば部

④ けらば水切110(85)

- 下葺材は既存水切にかぶせて既存屋根材の上に張ります。
- けらば部に栈木18×45を取り付け、栈木を包むように下葺材を増し張りします。
- けらば水切110(85)は留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、455mm以下の間隔で栈木に留め付けます。
- ケミカル面戸13×15をけらば水切110(85)に貼り付け、横暖ルーフα本体をけらば水切110(85)に差し込みます。
- 軒先端部の仕上げはけらば水切キャップ110(85)をリベットでけらば水切に留め付けるか、留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)で栈木に留め付けます。

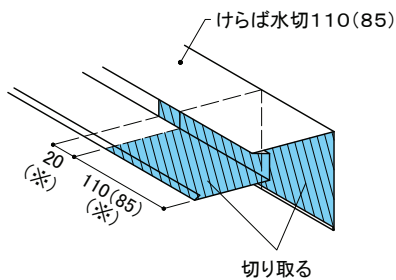


部分断面図

図はけらば水切110で表現しています。

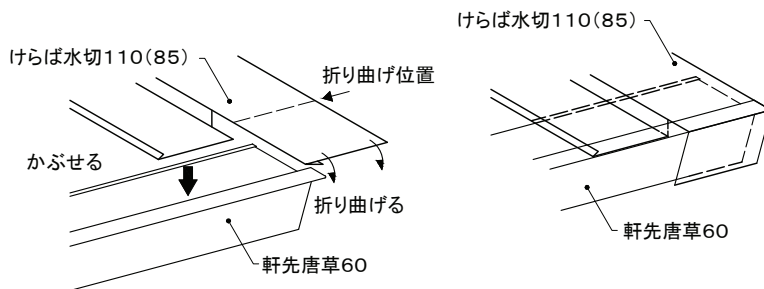
■施工ポイント・現場加工図

- 軒先部は、軒先唐草60にけらば水切110(85)をかぶせてください。



()内の寸法はけらば水切85使用時です。

- ①けらば水切110(85)は図のように切断します。
※切り取り寸法は既存屋根材に
応じて変更してください。



- ②けらば水切110(85)は軒先唐草60にかぶせ、図のように折り曲げます。横暖ルーフαが軒先唐草60に差し込めるように、けらば水切110(85)と軒先唐草60の取り合い部の隙間を調整してください。

●その他の加工例



けらば水切110(85)軒先部の加工例



けらば水切110(85)と軒先唐草の取り合い

